膵頭十二指腸切除術を受けられる(　　)さんへ　　説明日(　/　)　説明者氏名(　　)　　入院時に持参してください(★2日前入院の方)

STA6300110

月日(日時)	(　/　)	(　/　)	(　/　)	(　/　～　/　)	(　/　～　/　)	(　/　～　/　)	(　/　～　/　)	(　/　～　/　)	(　/　)
経過(病日等)	入院日	手術前日	手術当日朝	手術直後～集中治療室(SICU)	手術後1～2日目	手術後3～4日目	手術後5～17日目	手術後18～19日目	手術後20日目
達成目標	◇身体的準備が出来ている ◇手術について理解できている ◇精神的準備が出来ている			◇血圧・脈拍が安定している ◇呼吸が安定している ◇深部静脈血栓症の症状・兆候がない ◇合併症の所見がない ◇ドレーンの性状に異常がない ◇痛みがコントロールできる ◇膵液漏の徴候がみられない ◇離床ができる ◇創部に問題がない ◇感染の徴候がない			◇チューブや創部の自己管理ができる	◇退院の不安がない	◇日常生活の注意点が理解できる 【退院基準】 ・創部に問題がない ・発熱がない ・膵液漏の徴候がみられない ・疼痛コントロールができている
治療・薬剤(点滴・内服) 処置	内服がある方は薬を確認します ワーファリンを飲んでいる方は点滴に変わることがあります	手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします 絶食になるため点滴を始めます 15時に下剤を飲みます 21時に下剤と安定剤を飲みます	麻酔科医の指示で起床時に薬を内服する場合があります 6時に浣腸します 手術着に着替えます 弾力ストッキングをはきます	鼻から胃に管を入れます 酸素マスクをしています 心電図モニターをつけます 背中に痛みどめの管が入っています 1日3回抗生剤の点滴があります 腹部にチューブが挿入してあります 点滴を24時間行います	医師の指示で抜去します	※毎日、医師の診察があります			★抜糸は外来診察日に行います
検査	採血・レントゲン・心電図・肺機能検査があります　身長・体重を測定します			胸腹部のレントゲン・血液検査があります	胸腹部のレントゲン・血液検査があります				
活動・安静度	病院内の歩行は自由です			術後ベッド上安静です 寝返りは出来ます 翌朝から看護師と一緒に立つ練習からはじめて病棟内を歩行訓練します	病棟内を歩行できます ※必要時、理学療法士や看護師によるリハビリが始まります		病院内を歩行できます		
安全	ナースコール・ベッド柵2本設置します 運動靴の使用をお願いします			歩行の際、看護師が付き添います	看護師が起立時は介助する場合があります				
食事	食事制限はありません	夕食から食事は中止です 水分は(　　)時まで飲めます ※麻酔科の指示を確認しお知らせします	絶食・水分もとれません			医師の指示で薬を再開します	術後8日目～重湯開始し、徐々に形態を上げます		
清潔	入浴やシャワーできます	体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください	洗面・歯磨きをして下さい 男性の方は髭剃りもして下さい	体拭きをします			傷の状態が良ければシャワーに入れます		
排泄	毎朝、便(性状)・尿回数を確認します			尿の管が入ってきます 便意をもよおした時は、ベッド上で便器かオムツを使用します					
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします 手術までの流れについてわからないことは説明します 呼吸訓練を続けて行います ・腹式呼吸・口すぼめ呼吸 ・咳・痰出しの練習 ・術後疼痛評価について ・疼痛時薬剤使用について説明します ★主治医より治療についての説明があります ★薬剤師より現在内服中のお薬について説明します 禁煙はできていますか？ 手術後はチューブを入れたまま退院することがあります ★医療連携室の看護師やソーシャルワーカーがお話を伺います	★麻酔科医より手術時の麻酔の説明があります ★手術室看護師が訪問します 手術に必要な物品がそろっているか確認をしますので、1つの袋にまとめてください (看護師が確認後預かります) ※腹帯・トラコバンドの購入をお願いします (院内売店で販売しています) ※購入物品についてはご不明な点がありましたらお尋ねください	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡・コンタクトレンズ・かつらなどは手術室に行く前に必ずはずして下さい 手術中、家族の方は4階の家族控え室か病棟でお待ちください 離れる場合は必ず病棟まで連絡をお願いします 手術終了時はご連絡します ★手術後に主治医より説明があ	手術が終わったら、7階のSICU(集中治療室)へ移動します 痛みが強いときは痛み止めを使います。遠慮なくお知らせください 呼吸訓練を1日3回します 痰しっかり出して肺を拡げ 肺炎を予防しましょう	術後2日目に病棟へ戻ります(術後の状況で変更があります)	★薬剤師より手術後のお薬について説明があります	★退院までに栄養指導を受講します ・チューブ管理が必要な方については、自宅での排液や付け替え方法、必要な物品の購入等についてパンフレットを使って説明します ・創部のテーピングが必要な方には、テープの交換方法やテープの購入等についてパンフレットを使って説明します ・創部から出血する、浸出液が出る等の症状やその他ご心配な点がありましたら遠慮なくご連絡ください ★必要に応じて医療連携室の看護師やソーシャルワーカーが退院・転院までの支援を行います	退院後の注意点について説明します	★薬剤師より退院後のお薬について説明があります 外来再来日の説明をします 診断書・証明書が必要な方は早めに提出してください。

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2：入院期間については現時点で予想される期間です。
注3：術後の状態に応じて予定は変更することがあります。変更時はその都度説明を行いますので不明な点がある際はお尋ね下さい

久留米大学病院 肝胆膵外科　西棟11階病棟
2024.8月改訂